



物理ロケーションの設定

物理ロケーションは、デバイス モビリティ機能をサポートしています。物理ロケーションを利用すると、特定の地理的な場所に関連したパラメータを、他のパラメータと区別することができます。たとえば、企業内の特定のオフィスまたはキャンパスを対象としたメディア リソース サーバがあるとします。デバイスが別のオフィスまたはキャンパスにローミングされ、Cisco Unified Communications Manager に登録された場合は、ローミング先のロケーションのメディア リソース サーバがそのデバイスを処理するようにします。メディア サービスの利用に応じた物理ロケーションを定義すると、デバイスがある物理ロケーションから別の物理ロケーションへ移動するのに従って、効率的でコスト効果の高いサービスの再割り当てを保證できます。ネットワーク構造とサービスの割り当てに応じて、市町村、企業キャンパス、または建物に基づいた物理ロケーションを定義できます。

物理ロケーションを設定するには、次のトピックを参照してください。

- [物理ロケーションの検索 \(P.18-2\)](#)
- [物理ロケーションの設定 \(P.18-3\)](#)
- [物理ロケーションの削除 \(P.18-4\)](#)
- [物理ロケーションの設定値 \(P.18-4\)](#)

デバイス モビリティ機能の詳細については、『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager デバイス モビリティ」を参照してください。

物理ロケーションの検索

ネットワーク内にはいくつかの物理ロケーションが存在することがあるので、Cisco Unified Communications Manager ページでは、固有の条件を指定して、特定の物理ロケーションを見つけることができます。物理ロケーションを検索する手順は、次のとおりです。



(注) Cisco Unified Communications Manager の管理ページでは、ブラウザセッションでの作業中は、物理ロケーションの検索設定が保持されます。別のメニュー項目に移動してからこのメニュー項目に戻ってくる場合でも、検索に変更を加えたり、ブラウザを閉じたりしない限り、物理ロケーションの検索設定は保持されます。

手順

ステップ 1 [システム] > [物理ロケーション] の順に選択します。

[物理ロケーションの検索と一覧表示 (Find and List Physical Locations)] ウィンドウが表示されます。アクティブな (前回の) クエリーのレコードも、ウィンドウに表示されることがあります。

ステップ 2 データベース内のすべてのレコードを検索するには、ダイアログボックスが空であることを確認し、**ステップ 3** に進んでください。

レコードをフィルタリングまたは検索する手順は、次のとおりです。

- 最初のドロップダウン リストボックスから、検索パラメータを選択します。
- 2 番目のドロップダウン リストボックスから、検索パターンを選択します。
- 必要に応じて、適切な検索テキストを指定します。



(注) 検索条件を追加するには、[+] ボタンをクリックします。条件を追加すると、指定したすべての条件に一致するレコードが検索されます。条件を削除するには、[-] ボタンをクリックして最後に追加した条件を削除するか、[フィルタのクリア] ボタンをクリックして、追加したすべての検索条件を削除してください。

ステップ 3 [検索] をクリックします。

一致するすべてのレコードが表示されます。[ページあたりの行数] ドロップダウン リストボックスから別の値を選択して、各ページに表示する項目の数を変更できます。



(注) 該当するレコードの横にあるチェックボックスをオンにして [選択項目の削除] をクリックすると、複数のレコードをデータベースから削除できます。[すべてを選択] をクリックして [選択項目の削除] をクリックすると、この選択対象として設定可能なすべてのレコードを削除できます。

ステップ 4 表示されたレコードのリストで、表示するレコードのリンクをクリックします。



(注) リストのヘッダーに上矢印または下矢印がある場合、その矢印をクリックして、ソート順序を逆にします。

選択した項目がウィンドウに表示されます。

追加情報

P.18-5 の「関連項目」を参照してください。

物理ロケーションの設定

デバイス プールの物理ロケーションを追加する手順は、次のとおりです。

手順

ステップ 1 [システム] > [物理ロケーション] の順に選択します。

[物理ロケーションの検索と一覧表示 (Find and List Physical Locations)] ウィンドウが表示されます。

ステップ 2 次のいずれかの作業を行います。

- 既存の物理ロケーションをコピーするには、対象となる物理ロケーションを見つけて (P.18-2 の「物理ロケーションの検索」を参照)、コピーする物理ロケーションの横にある [コピー (Copy)] ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 新しい物理ロケーションを追加するには、[新規追加] ボタンをクリックし、**ステップ 3** に進みます。
- 既存のロケーションを更新するには、対象となる物理ロケーションを見つけて (P.18-2 の「物理ロケーションの検索」を参照)、**ステップ 3** に進みます。

ステップ 3 適切な設定値を入力します (表 18-1 を参照)。

ステップ 4 [保存] をクリックして、物理ロケーション情報をデータベースに保存します。

追加情報

P.18-5 の「関連項目」を参照してください。

物理ロケーションの削除

物理ロケーションが現在デバイス プールで使用中の場合は、削除できません。物理ロケーションを削除するには、依存関係レコードから関連するデバイス プールを見つけ、その関連付けを解除してから、その物理ロケーションを削除します。

物理ロケーションを削除する手順は、次のとおりです。

手順

-
- ステップ 1** P.18-2 の「物理ロケーションの検索」の手順に従って、削除する物理ロケーションを見つけます。
- ステップ 2** 削除する物理ロケーションの横にあるチェックボックスをオンにします。ウィンドウ上の物理ロケーションをすべて選択するには、検索結果表示のタイトルバーにあるチェックボックスをオンにします。
- ステップ 3** [選択項目の削除] をクリックします。
- ステップ 4** [OK] をクリックして、選択内容を確認します。
-

追加情報

P.18-5 の「関連項目」を参照してください。

物理ロケーションの設定値

表 18-1 では、物理ロケーションの設定値について説明します。関連する手順については、P.18-5 の「関連項目」を参照してください。

表 18-1 物理ロケーションの設定値

フィールド	説明
[物理ロケーション情報 (Physical Location Information)]	
[名前]	物理ロケーションを識別するための名前を入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、および下線文字 (_) を任意に組み合わせて使用することが可能です。
[説明]	物理ロケーションの説明テキストを入力します。この名前には、最長 50 文字の英数字を指定することができ、スペース、ピリオド (.)、ハイフン (-)、下線文字 (_) に加えて、以下の文字を任意に組み合わせて使用することが可能です。*、(、)、+、^、@、!、\$=~?/;:'

関連項目

- [物理ロケーションの検索 \(P.18-2\)](#)
- [物理ロケーションの設定 \(P.18-3\)](#)
- [物理ロケーションの削除 \(P.18-4\)](#)
- [物理ロケーションの設定値 \(P.18-4\)](#)
- 『Cisco Unified Communications Manager 機能およびサービス ガイド』の「Cisco Unified Communications Manager デバイス モビリティ」

